

三年生になつて初めてのマーク模試で、英語の筆記で68点、得意だと思つていた国語でさえ135点という成績をとつてしまつたところが、かけとなつて私は本格的に受験勉強を始めた。

受験期を通して私が学んだことは、志をどう持つかが結果はものすごく変わる。というも、ただ書いたりを讀んだするだけじゃなく、覚えよう、と思つてやることの方がとても大切だと思つた。

集中して机に向かうのには、集中し始めて、どうしても集中しきれないとき、休んでしまふのも手だと思ひます。受験期はどうしても焦つてしまふし、不安はずつとついてまわります。私は焦つてしまひ、今やるべきことではないことに手を付けてしまつたり、集中できずに勉強を続け、睡眠時間をけすつたり、まづたり、しませんでした。受験期間で、と水だけ自

分の目標を明確にし、ペリスを乱さないで学
 習に取り組めるかが大切だと思えます。
 自分のペリスを大切にしようと思いつか
 うセンターおでに、国語は30点程、苦手だ
 た英語は100点近く伸びました。また、伸
 びた英語は100点近く伸ばしました。また、
 伸びた日本史の代わりに得意だった生物に
 重点を置いて勉強することで本番では93点を
 取り、センター利用で3DのEに合格する
 という目標を達成することができました。
 受験期間をふり返ると、後悔がまったくと
 い、とはい言いません。でも、この一年間
 で学んだことはこれから活かせるものばか
 りだし、悩みながら工夫して乗り切った時間
 は、私にこれから自信を身えにくれると思
 います。